

小学部 1・2年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和4年9月8日(木) 10:50～11:35

場 所：小学部1

児 童：男子3人、女子1人、計4人

指導者：阿部真奈 T1、山岡野花 T2

1 単元名 絵本の世界へレッツゴーⅡ～じいちゃんバナナばあちゃんバナナ～

2 単元の目標

- (1) はさみやボンド、両面テープなどの正しい使い方が分かり、安全に気を付けて制作活動をする。(知・技)
- (2) 自分の意思を伝えたり、物の貸し借りをしたりするなど、友達や教師とやりとりをして協力しながら制作活動や調理をする。(思判表)
- (3) パーティーへの期待感をもち、飾りを考えたり、自分から使いたい材料を選んだりして、制作活動や調理、パーティーなどを楽しむ。(学・人)

3 児童と単元

(1) 児童について

小学部1年男子2名、2年男子1名、女子1名の4名の学習グループである。3名は簡単な言葉でのやりとりができ、1名は「あー」の発声や指差し、簡単なサイン等で自分の意思を表出することができる。4名とも語彙が少なく思いを上手に伝えられなかったり、友達との関わり方が乱暴だったりする一面が見られる。また、経験の少なさから興味関心の狭さが伺える。

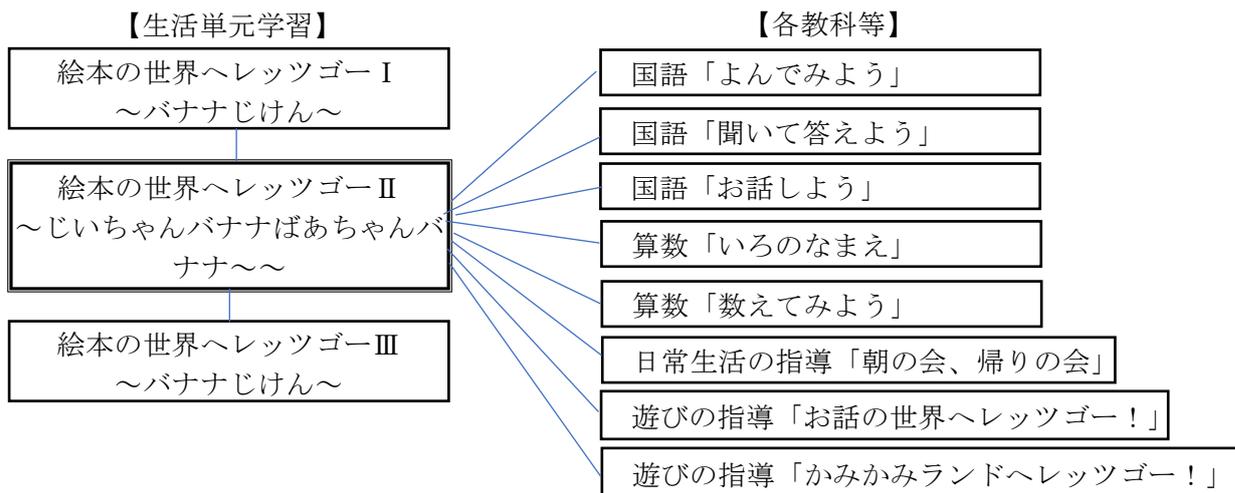
2年生2名は昨年度も絵本を読み、その世界観を作って楽しむ活動を繰り返してきた。絵本を見るのが好きで、自分から絵本を見たり、場面に合わせて覚えたフレーズを話したりする。1年生2名は入学当初、絵本への興味関心が低かったものの、毎日絵本の読み聞かせを聞くことで絵本に注目できるようになり、好きな食べ物が出てくると食べ物の名前を言ったり、「どれ食べたい？」など絵を見て話したりすることが増えてきた。

(2) 単元について

本単元は「絵本の世界へレッツゴー」の2回目となる。前回は絵本「バナナじけん」を題材に、車を作ったり、登場人物のお面をかぶり、教師の読み聞かせに合わせて体を動かすごっこ遊びをしたりして楽しんだ。

本単元では前単元に引き続き児童が好きなバナナが主人公の絵本「じいちゃんバナナばあちゃんバナナ」を題材とする。熟してきたバナナが様々な食べ物に変身してパーティーを行うストーリーである。学級で繰り返し読んでいて親しみがあり、児童にとって興味関心が高い絵本である。絵本のストーリーに合わせてパーティーをひらくために飾りを作ったり、調理をしたりするなど、様々な活動を設定することができる。それらの活動を通して興味関心の幅を広げたり、自分の思いを言葉や作品で表現したりすることができる。また、友達と一緒に活動する中で、友達の真似をして制作したり、道具や材料の貸し借りをしたりして、友達を意識したり関わったりする場面が設定できると考え、本単元を設定した。

○本単元で身に付けたい力に関連する他教科の単元と指導内容



(3) 指導上の留意点

- ・活動の始まりが分かるように、はじまりの歌を歌ってから絵本の読み聞かせを行うという流れを固定する。【分かって行動する姿①】
- ・見通しがもてるように、イラスト入りの単元計画表や飾り付けの完成図を掲示する。
【分かって行動する姿①】
- ・パーティーに向けて意欲的に活動できるように、パーティーの内容や飾り、招待客などを選ぶ場面を設定する。【分かって行動する姿②】
- ・パーティーでやりたいこと、飾りたいものを伝えられるように、イラストを複数用意し、選べるようにする。【分かって行動する姿④】
- ・児童の興味関心の幅が広がるように、様々な制作活動の材料を用意する。
【分かって行動する姿②】

4 指導計画（総時数 28 時間）

小単元名・時数	ねらい	主な学習活動
「じいちゃんバナナばあちゃんバナナ」を読 んでみよう (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「じいちゃんバナナばあちゃんバナナ」のだいたいの話が分かる。(知・技) ・学習への見通しや期待感をもつ。(学・人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 ・パーティーの飾りや招待したい人を話し合う。
スペシャルバナナケー キを作ろう (6 時間) 本時 1 / 6	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に安全な道具の使い方を 知る(知・技) ・友達と順番に道具を使ったり、真似 をしたりして、一緒にスペシャルバ ナナケーキを作る。(思判表) (学・人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーキの土台作り ・ケーキの飾り作り
変身スーツを作ろう (8 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を選んだり、組み合わせたりし て自分の変身スーツを作る。(思判 表) ・お客さんが着たい変身スーツを考え て作る。(思判表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変身スーツのデザインを決 める。 ・スーツの飾り付け

パーティーをひらこう (12時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいパーティーになるように、教室を飾り付けしたり、バナナ料理を作ったりする。(思判表) ・調理をする時に衛生面に気を付けることを知る。(知・技) ・パーティーを楽しみ、達成感を得る。(学・人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・招待状作り ・調理 ・教室の飾り付け ・へんしんおいわいパーティー
----------------------	--	---

5 本時の計画

(1) 本時の目標

- ・友達と一緒に道具を使ったり、手伝ったりして、協力してケーキの台座を作る。

(思判表) (学・人)

(2) 児童の実態及び目標と手立て

児童 (生徒)	本単元または本時に 関わる実態	本時の目標	手立て
A 1年 (男)	絵本への興味関心はまだ低いが、好きな絵本であれば注目できるようになってきている。 制作活動への意欲は低いがシール貼りなどの簡単な活動であれば10分程度集中して取り組むことができる。	・自分からペットボトルを並べたり、両面テープを貼ったりして制作活動に参加する。(学・人)	・ペットボトルを並べる場所や両面テープを貼る位置が分かるように目印を付ける。
B 1年 (男)	絵本への興味関心はまだ低いが、繰り返して読むことでフレーズを覚え、話に合わせて音読する。 人への興味関心が高く、友達の真似をして遊んだり、積極的に関わっていこうとしたりする。	・友達と道具を貸し借りしたり、一緒にペットボトルを並べたりしながら制作活動をする。(思判表)	・友達と一緒に活動できるように話し方の見本を示したり、関わる場面で仲介したりする。
C 2年 (男)	絵本が好きで、休み時間も自分から絵本を読むことが多い。発語はないが、絵本に合わせて身振り手振りで内容を表現する。 はさみやクレヨンなど道具を使うことが好きで、制作活動のやり方が分かると集中して取り組む。	・作り方が分かり、自分から進んでケーキを制作する。(学・人)	・自分から制作活動に取り組めるように、作り方の見本を示したり、ペットボトルを置く場所に目印を付けたりする。
D 2年 (女)	ひらがなの拾い読みができるようになり、絵本の一部を読んだり、フレーズを覚えて話したりする。 制作活動では自分で想像を広げて工夫したり、友達の真似をして自分の作品に取り入れたりする。	・率先して制作活動に向かったり、友達にやり方を教えたりしながら制作する。(思判表)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達への言葉の掛け方を教えたり、見本を示したりする。 ・自信をもって活動できるよう、やっていることが適切であることを適宜伝える。

(3) 展開

時間	学 習 活 動	指導の手立てと留意点
10分	1 絵本の読み聞かせを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・期待感をもって活動に参加できるように、楽しい雰囲気ではじまりのうたを歌う。 ・T2：絵本に注目できるように、指差しで視線を促したり、姿勢を整えたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><めあて>みんなでちからをあわせてケーキをつくろう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・完成したケーキのイメージをもつことができるように、前時に決めたケーキの完成図をテレビで映す。
30分	2 ケーキの台座を作る。 ① 平干しネットや受け皿にペットボトルを並べて詰める。 ② ガムテープで固定する。 ③ 波段ボールに両面テープを貼る。 ④ 波段ボールを側面に貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーキの作り方が分かるように、実物を使って作り方を説明する。 ・ペットボトルを並べる場所や終わりが分かり、みんなで集まって活動できるように、ケーキの大きさの枠を用意し、一段ずつ順番に制作する。 ・全員で協力して制作できるように、並べたペットボトルの周りに座って隣の友達にガムテープを伸ばしながら手渡しし、ペットボトルにガムテープを一周巻きつけて固定する場面を設定する。 ・ガムテープで固定する方法が分かるように、教師が見本を示したり、手を取って教えたりする。 ・関わり合いながら活動できるように、道具の数を限定し、両面テープを貸し借りして使ったり、切る人貼る人の役割分担をしたりする。 ・やりとりの仕方が分かるように、貸し借りの時の言葉の見本を示したり、伝えたいことを汲み取って仲立ちしたりする。適切に関わりながら活動できたときは即時に称賛する。 ・両面テープを貼る位置が分かるように波段ボールに印を付ける。
5分	3 活動の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を得られるように「力を合わせて」できた場面を具体的に取り上げて、めあてに花丸を付ける。 ・次時への見通しをもてるように単元計画を見ながら、次時はケーキの色塗りをすることを伝える。

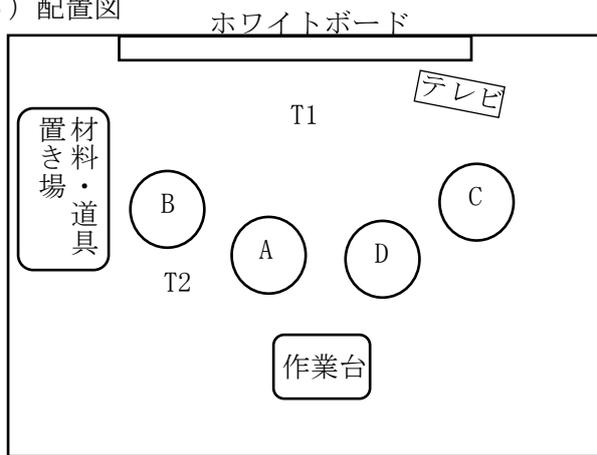
(4) 評価の観点

- 児童 ・友達と関わり合いながら、ケーキの形ができるように活動できたか。
- 教師 ・活動の内容が分かり、自分から取り組めるような教材は適切だったか。
- ・児童同士が関わり合いながら制作活動ができるような言葉がけや手立ては適切だったか。

(5) 準備物

- ・平干し用ネット
- ・鉢植えの受け皿
- ・ミニビニールプール
- ・ペットボトル
- ・ガムテープ
- ・両面テープ
- ・波段ボール
- ・単元計画表
- ・テレビ
- ・絵本
- ・はじまりの歌のCD

(6) 配置図



(7) 板書計画

